

11月の祭典行事について

熱田 神宮 宮 庁 総 務 課 名 古 屋 市 熱 田 区 神 宮 1 - 1 - 1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

熱田講社の秋のまつり

熱田講社秋季大祭

11月1日(水)
午前11:00
本宮

祭典・神事

愛知県内から参集した熱田講社講員の家内安全を祈願する秋の大祭を執り行います。
熱田講社は、神徳の宣揚と社運の隆昌とを図る目的のもと、昭和21年4月に愛知県全域の当神宮を崇敬する方々で組織した団体で、講員数は約3万名にのぼります。

○※祭典終了後には、大前で棒の手、文化殿で講談を披露します



明治天皇の御聖徳を仰いで

明治祭

11月3日(金)
午前7:00
本宮・別宮

祭典・神事

宮司以下祭員が奉仕して、明治天皇の御聖徳を仰ぎ奉り、皇室の弥栄と国家の安泰とを祈るお祭りを執り行います。



奉賛会の隆昌を祈って

奉賛会大祭

11月3日(金)
午前10:00
本宮

祭典・神事

奉賛会々員の隆昌と繁栄とを祈る大祭を執り行います。
奉賛会は、熱田の大神様を敬い神宮の隆盛を図る目的で、昭和20年に名古屋市内の崇敬者を中心とし組織された団体です。このお祭りには毎年当神宮の総代が献幣使としてご奉仕下さいます。

○本年の献幣使は総代の瀧 昌之 氏のご奉仕です。



子供のすこやかな成長を祈って

七五三参り

11月中

行事

「七五三」は、子供達のすこやかな成長を感謝し健全な発育を祈る行事です。
以前は11月15日が七五三参りの日とされていましたが、近頃は15日に関らず、10月下旬から11月中旬の土・日・祝日がお参りのピークになっています。
当神宮では11月30日まで七五三参りのお取り扱いをさせて頂き、参拝並びに祈祷のおさかりに「福笹飴」をお授けし



境内で粘土をこねて楽しいな

第55回熱田神宮彫塑(ちょうそ)コンクール

11月3日(金)
午前8:00～正午
境内一円

行事

幼児(4歳以上)～小中学生約2,000人を対象に、境内での粘土作品のコンクールを開催、粘土で思い思いの作品を制作しその出来映えを競います。
当日は、文化殿前にて午前8時より、粘土1kgと粘土板を配布します。
因みに、県内唯一の大規模な彫塑コンクールです。

○参加自由(保護者の方の作品提出も受け付けます。)尚、作品は返却致しません。



七五三、皆でお参り楽しいな

福祉施設児童七五三参り

11月14日(火)
午前10:00～午後1:00
神楽殿・文化殿

行事

日頃神社参拝の機会が少ない市内の施設児童約150名を招いて七五三をお祝いし、子供たちのすこやかな成育と幸福を祈願いたします。
また、お参りのあとは記念写真写真撮影、文化殿でのマジックショー、アニメの鑑賞など、楽しい集いを催します。

○この行事は昭和37年に始められ今日に至っています。



熱田神宮宝物展

コーナー展示 第22回熱田の杜 東海現代刀匠刀剣展

10月27日(金)～11月28日(火)
午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

重文 日本書紀(巻第八)や重文 黒漆根古志形鏡台等、当神宮所蔵宝物の他、今月は併せて「第22回熱田の杜 東海現代刀匠刀剣展」を特別開催します。愛知・岐阜・静岡県在住の刀匠が一瞬の気の緩みも許されず鍛えた現代の名刀と、作刀の緊張をほぐす一服の安らぎとして遊びごころをもって製作した小品、約60点を展示します。

○入館料 大人¥300[250]、小中学生¥150[100]([]内は20名以上の団体料金)入館は16:10まで。



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

11月18日(土)
午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

演題

災害に備える～合言葉は「命・支えあい・自ら動く」～
講師

名古屋市港防災センター 防災教育アドバイザー
JICA(独立行政法人 国際協力機構)防災教育担当専門家
近藤 ひろ子 氏

○聴講無料

